

昨年のツアー内容に、新たに「心柱制振」の解説を加えてパワーアップ！ 期間限定！東京スカイツリー®構造ガイドツアー

東京スカイツリーでは昨年9月～10月に期間限定で実施し、東京スカイツリーの三本足の一本に触れることができるなど好評を博した「東京スカイツリー®構造ガイドツアー」を3月15日（水）～7月上旬に再び実施します。

今回は、前回と同様に構造ガイドツアーで紹介する東京スカイツリーの足（通称：**鼎**）部分を実際に触れていただくことができるほか、新たに東京スカイツリーの防災上の重要な構造である「心柱制振」という構造について、模型やパネルを使用しての解説を加えて実施します。

鼎部分からは、東京スカイツリーのトラス構造と呼ばれる三角形を多用した構造体の様子や円形の鉄骨を幾重にも溶接している様子をご覧いただくことができ、見上げると三角形から円形に変化していくスカイツリーならではの“そり”と“むくり”の様子を実感することができます。

また、東京スカイツリーの建設時に工事の安全とタワーの永年堅固を祈願して行われた立柱安全祈願に使われた祭具も公開するほか、東京スカイツリーを照らし出すLED照明器具や雷研究に使われるロゴスキーコイル等を間近でご覧いただけるガイドツアーとなっています。

展望台の眺望と併せて是非お楽しみください。



▲東京スカイツリー®構造ガイドツアー（昨年の様子）

名称：東京スカイツリー®構造ガイドツアー

実施期間：3月15日（水）～7月上旬（予定）の平日開催

実施時間：8:20～、9:20～

料金：無料 ※ただし、展望台入場券ご購入の方に限ります。

所要時間：約40分

集合場所：東京スカイツリー4階 北エントランス付近、入場ゲート前

参加方法：集合場所にお集まりください。※受付等は必要ありません。

催行人数：1名～20名程度

備考：天候、その他の理由により予告なくガイドツアーの中止またはツアー内容の変更となる場合がございます。

●東京スカイツリー®構造ガイドツアールート紹介

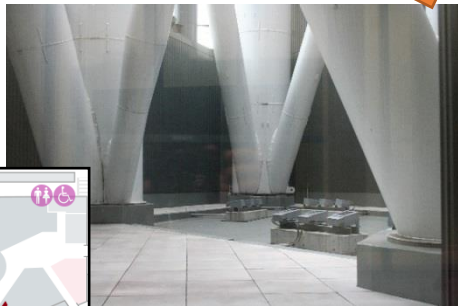
構造ガイドツアースタート！

東京スカイツリー1階団体フロアからご案内。
世界にあるタワーの説明と東京の様子をデフォルメされて描かれた隅田川デジタル絵巻に隠されたたくさんのしかけをご紹介します。
よく見ると有名人がいたり、現実にはありえないものが置いてあったり…。ぜひその目で確かめてみてください。



スカイツリーのトリビア

東京スカイツリーにまつわるトリビアをご紹介します。どうして鉄骨を白色にしたのか？なぜ三本足なのか？雷が落ちたらどうなるのかなど、知れば思わず皆に自慢したくなるスカイツリーの知識が満載！



東京スカイツリーを支える足(鼎)

いよいよ通常入ることができない足(鼎)部分へ。
館内パンフレットにも記載されていないレアスポットです。
一番奥に見える最も大きな鉄骨は塔体の最初に据付けられたもので高さ約4m重さ約29トンもあり大迫力！

鼎から見上げる

スカイツリー
普段入れない足(鼎)のエリアから上を望むとスカイツリーの特殊な形状“そり”と“むくり”が体感できる絶景が！そのスケール感に圧倒されること間違いなし！



立柱安全祈願時に使われた祭具

立柱安全祈願時(2009年4月6日)に使われた祭具。金と銀ハンマー、スパナ、ネジがあり、工事の安全とタワーが永遠に倒れず、壊れないことを祈願して作られました。金と銀の祭具をみたら何か良いことがあるかも！



お客さまに初公開！

心柱制振を説明する貴重な模型

東京スカイツリーの制振(建物の振動を低減させる)構造である心柱制振について模型を用いて解説します。本模型はスカイツリー設計時に制振構造を説明、試験するために作られた模型です。昨年実施の構造ガイドツアーのプログラムにはなく、お客さまには初公開となる貴重な模型です！

